

Keep On Researching

2013 年 9 月 9 日
発行
明石北高等学校
研究推進部

2013 夏のSSH事業報告 PART 2

前回に続き、この夏、本校生徒が参加した SSH 事業を紹介します。

③自然科学探究Ⅲ 企業訪問 7月17日(水) 楯菱電産



↑ 部品(鉄)の加工中

自然科学コース3年生が取り組んでいる自然科学探究Ⅲの授業の一環として、7月17日に楯菱電産という地元の企業を訪問し、研修をしました。この会社は、主に三菱電機が世界で手がける発電所の部品を製造している社員40名余りの中小企業ですが、製品の企画・設計・製作までを一貫しておこなっています。講義で「他の会社にはできないオンリーワン」を目指す姿勢や、世界に出て行くための英語力の重要性などを聞き、生徒にとって大いに得るものがあったようです。(水野 博文)

④プラネタリウム解説体験(「咲いテク」プログラム)8月26日(月)於明石市立天文科学館

SSH事業で天文の分野はなかなかありません。明石で行われるせっかくの機会、自然科学探究部として2年生2名、1年生3名が参加しました。最初は自由見学。初めての生徒も久しぶりの生徒もゆっくり楽しんで見学しました。(ところで知っていましたか?今年から**高校生の入場料が無料**になったことを!大人なら¥700。ぜひ『高校生』を利用して見学に行ってくださいね。天文科学館の方にも「宣伝して下さい」と言われました。)



↑ 全員で発声練習

次は学芸員の井上さんに指導を受けて発声練習。

放送部のやっている あえいうえおあお かけきくけこかこ…のあれです。解説員は聞き取りやすく声を出さなければいけません。引率教師も一緒に声を出しましたが…おそまつでした。その後、各班に分かれてプラネタリウム解説の原稿を作成です。春や夏の星座、星の過去と未来、南半球の星座などをテーマに8分の原稿を60分ほどで作りました。そして、実際のプラネタリウムを使って解説体験。どの班も工夫して上手に解説できました。日頃はできない体験を満喫した事業でした。来年はぜひ参加を!天文ド素人でも大丈夫ですよ。(萩原 美登里)